

令和3年度 野洲図書館 事業報告(概要)

令和4年(2022年)4月1日(統計は令和3年度数値)

1. 利用状況

①個人貸出

	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	予約受付 (冊)	問合件数 (件)	実利用数 (人)	人口一人あたりの貸出冊数
本館	494,441	116,500	58,532	4,755	-	-
中主分館	40,896	8,742	1,644	545	-	-
合計	535,337 前年比 10.3%増 (48,576)	125,242 前年比 8.3%増 (10,805)	60,176 前年比 6.1%増	5,300 前年比△5.4%	10,008人 (市民8,669人 実利用率17.1%)	10.5冊

* ()内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

*「実利用者数」は1年間に1度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

*本館、中主分館とも277日開館

②地域別貸出冊数

	本館	中主分館	合計	前年比
市民	438,531	35,396	473,927	11.5%
広域利用	守山	3,670	40,467	-3.0%
	栗東	29	4,068	9.4%
	草津	963	4,041	44.9%
	小計	4,662	48,576	0.8%
その他	11,996	838	12,834	8.6%
合計	494,441	40,896	535,337	10.3%
前年比	10.4%	9.7%	10.3%	

(利用状況について)

令和3年度はコロナ禍以前の利用状況に戻つつある。(市民の貸出冊数 元年度比△0.8%) 湖南4市の広域利用については、守山市立図書館の新館開館(平成30年)後は減少している。以前は野洲図書館からの貸出がバランスを欠いて多かったため、4市で相互に同程度の貸借数に近づいていることは望ましい方向である。

(全国の図書館との比較)

『図書館年鑑2021』

(日本図書館協会)

(令和元年度統計)

人口6万未満の市区		
順位	自治体名	貸出数 (千点)
1	野々市市	615
2	野洲市	555
3	福生市	553
4	下松市	551
20	大阪狭山市	356
平均	77市区	286

全国統計は2年遅れで公表されるため、最新の状況詳細は不明だが、令和元年度の人口別の貸出統計では、全国の5万人~6万人の人口の自治体数77の中で野洲市は2位である。(資料費は20位以内に入っていないため不明)

(滋賀県の図書館)

貸出冊数は競うものではなく運営の結果として示される実績のひとつだが、重要な基本指標である。滋賀県の図書館は全国でも利用が多く14市町が各人口別の20位以内に入っている。令和2年度の速報値によると滋賀県の県民一人あたりの貸出数は、7年ぶりに東京を抜いて1位となった。滋賀県では、県立図書館を中心に県内全市町がネットワークを組み、資料の相互貸借のしくみを維持する等、資料提供のために地道な協力業務を積み上げてきた。野洲市の図書館利用の実績はこの協力体制に支えられている。

③貸出冊数の推移

	合計	うち市民
27	674,122	536,814
28	646,153	525,437
29	639,520	516,736
30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189
R3	535,337	473,927

④市内の子ども(0~12歳)1人当たり児童図書貸出冊数(個人貸出)

(*第3次野州市子ども読書活動推進計画)の目標値

計算式: 市民の児童図書の貸出冊数 ÷ 0歳から12歳の野州市の児童数

年度	冊
25	26.5
26	25.4
27	26.5
28	26.3
29	27.4
30	27.2
R1	25.1
R2	21.5
R3	25.6

(子どもの利用状況の推移)

左の表は、市内の子ども1人当たりの図書館の児童図書の個人貸出の貸出冊数の推移である。おおむね横ばいで、令和3年度は元年度の状況に戻っている。

子どもが本に親しむためには、幼児期には大人が絵本をよんであげることが大切であり、自分で読めるようになってからは、子どもの身近に、楽しみのための読書に適した本がある環境を作ることが大切である。

図書館ではこのために、図書館での通常の個人貸出や図書館内外でのお話会、学校でのブックトーク等の他に、主に次の3つの事業を行っている。

(未就園児対象)
ブックスタート事業

4か月児健診時に、赤ちゃんのときから絵本を読んであげることの大切さを伝え、絵本を2冊プレゼントする事業。
(平成28年度から実施)

令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策のため、健診会場で実施できず、引換券を配布して図書館に来館した人に実施。307人(対象者の76.7%)

(幼児対象)
園への読み聞かせ用
絵本セット巡回事業

市内の園(私立含む)14園と発達支援センター、子育て支援センターに、よみきかせ用の絵本セット(30冊)を配本・巡回(年6回)。平成27年度から開始した事業のため、傷んできた絵本が多く、令和3年度の国の交付金約100万円を活用して、絵本の買い替えとセットの組替を行った。

(小・中学生対象)
としょかんBOX事業

国の交付金を活用して、小学校では令和3年2月から、中学校では令和4年度から事業を開始した。全クラスに35冊の本が入った箱を設置し、定期的に交換・巡回する。

交換頻度は、小学校は令和3年度は年5回、令和4年度から年7回。中学校は年5回。

⑤団体貸出 合計 38,184冊貸出

(園への読み聞かせ絵本セット5,760冊、小学校「としょかんBOX」17,955冊、その他14,469冊)
利用団体 130団体

⑥バリアフリーサービス

職員による宅配: 実利用者6人
37件、329冊

郵送: 実利用者14人、177件、710冊

平成29年度から開始した、障がいがある人への郵送、宅配サービスは、PRイベント等も実施して広報をすすめており、少しずつ利用が伸びている。

年度	バリアフリーサービス(宅配・郵送)						合計の実利用者数
	宅配			郵送			
	実利用者数	件数	冊数	実利用者数	件数	冊数	
H29	3	20	-	3	11	22	6
H30	4	33	327	6	77	238	9
R1	5	49	381	7	113	434	11
R2	4	46	366	7	138	624	11
R3	6	37	329	14	177	710	17

⑦その他 利用に関する統計

*コピーサービス 2,953 枚、国立国会図書館デジタル化資料複写 1,185 枚

*図書館ホームページ閲覧件数 128,251 件

2. 蔵書

蔵書数(令和4年3月31日現在)

雑誌 新聞の()内は購入数

	図書 (冊)	CD (点)	DVD(点)	絵画 (点)	雑誌 (タイトル)	新聞 (タイトル)
本館	376,831	5,201	1,198	310	191(145)	19(13)
中主分館	32,199	183	11	0	11(8)	2(2)
合計	409,030	5,384	1,209	310	202(153)	21(15)

雑誌オーナー 26タイトル 18件

購入資料数と決算額(令和3年度)

	新規購入図書 (冊)	視聴覚資料 (タイトル数)	図書費 (円)	雑誌購入費 (円)	新聞購入費 (円)	視聴覚資料費 (円)
本館	13,154	107	22,583,111	1,380,111	489,713	518,118
中主分館	460	0	632,756	237,737	94,800	0
合計	13,614	107	23,215,867	1,617,848	584,513	518,118

*滋賀県立図書館をはじめ県内公共図書館の蔵書も県立図書館HPを通じて検索可能。

県立図書館の協力車が毎週巡回し、相互貸借の資料を搬送。相互貸借:2,226冊借受、738冊貸出

●国の 令和3年度「新型コロナウイルス感染症対策対応地方臨時交付金」

資料費の当初予算額 15,937 千円に、国の交付金 1,050 万円(うち 50万円は消耗品費)が補正予算として追加。

交付金の約半分で団体貸出用資料を購入。内訳として、園への読み聞かせ用絵本セットの買い替え、小学校の「としょかん BOX」の補充用にそれぞれ約 100 万円、中学校の「としょかん BOX」用に約 300 万円を充てた。

昨年度から外国籍の人のための資料の充実をはかっている。令和2年度の国の交付金約 80 万円で 340 冊の蔵書を整備したのに続き、3 年度は、約 57 万円で 162 冊の資料(中国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、ネパール語等)の資料を購入した。

今後は整備した資料を利用してもらえるよう、PRにつとめることが大切である。

国交付金(補正予算)購入内訳

対象	内容	冊数	金額	
図書館 個人貸出用	一般書	1,011	2,148,995	
	大活字本	108	240,877	
	外国語(一般)	151	490,878	
	外国語(児童)	11	78,021	
	児童書	1,035	1,523,034	
	視聴覚資料	105	500,527	
	小計	2,421	4,982,332	
団体用	園	絵本セット用	675	1,000,000
	小学校	としょかん BOX 用	675	1,000,000
	中学校	としょかん BOX 用	2,018	3,017,650
	小計	3,368	5,017,650	
合計		5,789	9,999,982	

*園、小学校、図書館用児童書の内訳は概算

3. 集会行事等

①おはなし会(図書館内) 合計44回316人(定員制限して職員担当の会のみ実施)

②学校、園協力

- ・調べ学習資料用意:50件1,395冊
- ・学校への出張個人貸出:4校(三上小、中主小、篠原小、中主中)へ延べ25回 合計2,231冊貸出
- ・ブックトーク:6小学校の全クラスへ出向 合計94クラス 2,952人
- ・小学校でのおはなし会 27回5日 1,055人
- ・小学校・幼稚園等の図書館見学 4回 129人
- ・幼稚園・保育園・子ども園等へ読み聞かせ用絵本セットを配本(14園+2施設 年6回) 5,760冊

③講演等

- ・のりもの絵本作家 山本忠敬原画展 8/6~8/19 期間中の入館者 6,912人
山本洋子さん講演会「のりもの絵本作家・山本忠敬氏の絵本づくり」8/8 受講者 20人
山本さんの絵本でおはなし会 8/7 参加者 29人
- ・図書館講演会「徳川家康・秀忠・家光と永原御殿」3/19 講師 進藤武教育部次長 受講者 50人

④展示等

- ・パネル展『お蚕さんから糸と綿と』4/20~6/2 (後日、貸出用写真パネルとして整備)
- ・パネル展『小さな里山をつくる チョウたちの庭』7/8~8/4
- ・特集展示『あなたの好きな本を教えてください!』11/5~11/21 応募数 85件
- ・特集展示『バリアフリーサービス』12/2~12/19
- ・パネル展『ひばりに』3/4~3/20

4. 資料関連その他

- ・本の特設コーナー 合計99件 「今だからこそ 手紙に思いをのせて」「わたしらしくいきる」「社会と生活と私とときどき選挙」「STOP!温暖化」「家族のカタチ」「JICA 海外協力隊のどローカルごはん」「このミステリーがすごい!ってほんまですか?」「No War In Ukraine」ほか
- ・図書館だより、ブックリスト等の作成
一般向け(毎月)、児童向け(毎月)、児童向け特番(1回)、中高校生向け(7回)、
- ・野洲市に関する新聞記事のデータベース(新聞名、日付、タイトルなど)を図書館HPで公開

5. 他機関等との連携

- ・ブックスタート事業 4か月児健診児対象 新型コロナウイルス感染症対策で健診会場に入れないため引換券を健診時に配布し、図書館内で実施 307人 614冊配布(健診受診対象者の77%)
- ・職員講師等派遣
ステップアップ研修(図書館員対象 県立図書館主催) 1名
学校図書ボランティア研修 2回

6. 図書館協議会(任期 令和3年5月1日~令和5年4月30日)

委員 10名 3回開催 第1回 6/12、第2回 10/2、第3回書面開催(3月)
(通常は年4回開催だが、新型コロナウイルス感染症対策のため1回中止)

7. その他

- ・「図書館の評価」令和元年度より実施開始 目標 13項目 図書館協議会による外部評価を実施
- ・利用者アンケート 令和4年2/1~2/28 1,616枚配布 528枚回答
- ・施設貸出 利用回数 673回、6,590人、利用団体実数 96団体